

ご寄付・ご寄贈をありがとうございます

第一生命保険株式会社
日清医療食品株式会社
スナック永悠
深田商店
男澤医院

ほほえみ応援団
菱友
ピーベリー
(株)池田造生花店
第一小学校

ボランティアさん！ありがとうございます。

紅露弘子さん、井口みよ子さん、山本豊子さん
主に工房内での作業ボランティアとして毎日来て頂いてます。そして木工品作成の宮本さん
ほほえみ応援団のAさん、気にかけてくださる全ての皆さん
滝川ほほえみ工房のことを今年もよろしく願います。

「プリント折りについて」

利用者さんの作業はクッキー作りから外での除雪など様々です。印刷の依頼があると丁合をほほえみ班の利用者さんに手伝っていただいています。広報委員会のお仕事ですが、この工房通信「新春号」も折っています。



「カレンダーについて」

2024年カレンダー完売致しました。ありがとうございます。カレンダーには利用者さんのセンスが光る作品を掲載しています。販売するために袋入れも行っていました。来年に向けて時間がある時には創作活動を行っています。

写真は袋入れの様子です。



「相談支援について」

皆様、今年も宜しくお願いいたします。今年のはうるう年、2月は普段の月より日数が少ないので今年1日得をした気分になりますね。今回の工房通信では「ほほえみプラザ」相談支援の紹介をいたします。「ほほえみプラザ」は専門の資格を有する職員を3名配置(山下相談員・渡邊相談員・砂原)し、相談業務を行っております。既に皆さんには担当相談員が付いており、ご存じとは思いますが、皆さんがサービス利用をする際に市町村の支給決定を受けるために必要な「サービス等利用計画」を作成、利用者さんと定期的に面談を行い、モニタリングを実施。適切にサービス提供が行えているか報告書を市町村に提出しています。面談の際には「作業を頑張っているよ」「こんな作業にチャレンジしたい」「将来は就職を目指しているよ」等、様々な声が聞こえてきます。「ほほえみプラザ」は滝川市から委託を受け、基幹相談支援センターとしての役割も担っています。最近の一般相談(法人以外の利用者さん)の傾向として、精神の方の福祉的就労に関する問い合わせや障がい福祉サービスの利用が増えていきます。また、発達障がいや精神を患っている方の低年齢化、不登校から引きこもり生活になり今後の生活についての不安、両親が高齢になり、引きこもり生活をしている子の生活を危惧し家族からの相談を受ける「8050問題」もここ数年増えてきています。滝川市内では親から離れて支援を受けながら生活する場がまだまだ足りない状況ですが、将来に向けて少しずつご家族で話し合いをされておくと良いかもしれませんね。サービスに関して等、気軽に相談ください。担当相談員が親切丁寧に対応いたします。

滝川しょうがい者地域生活支援センター ほほえみプラザ
相談主幹 砂原 友香

編集後記

毎年、秋になるとボランティアKさんの言葉を思い出します。「秋はなんだか寂しくて気分が落ち込んでいく感じだけど、年が明けると新春だから春と言う文字になんだか明るい気持ちになれる。」とKさんが話していました。私は、寒い冬を迎える時、その言葉を思い出してすぐに春だからと気持ちを切り替えています。何か落ち込んだり、嫌なことがあった時に誰かの言葉や行動に何かヒントがあることもあります。第三者相談日が毎月あります。相談だけでなく第三者相談員と話をしてみたいと思ったら職員に声をかけてください。会話を通して気分が晴れることがあるかもしれないですよ



ほほえみ工房通信

ほほえみ

2024
新春号

社会福祉法人 滝川ほほえみ会

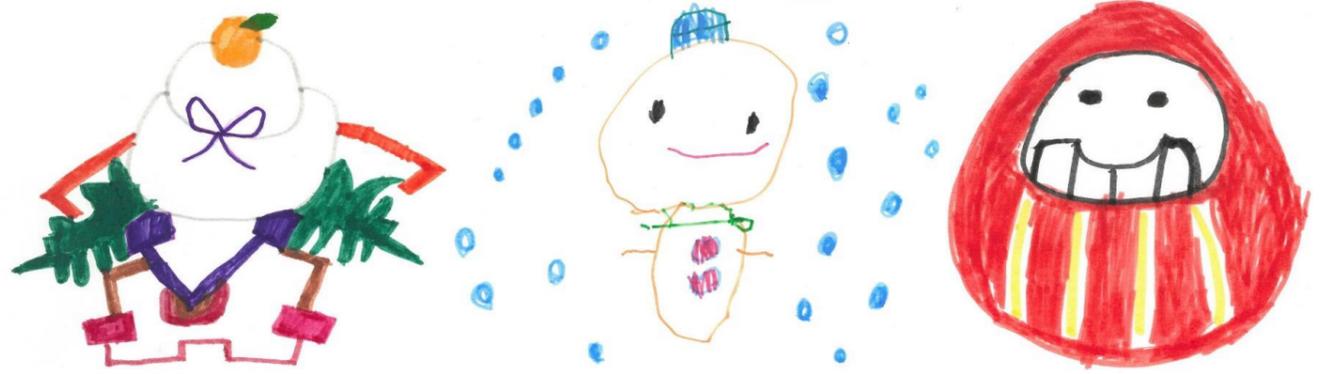


発行責任者 服部 宗弘 〒073-0003 北海道滝川市滝の川町西5丁目4番28号

E-mail : info@hohoemikai.net TEL 0125-24-3595 FAX 0125-25-3596

<http://www.hohoemikai.net/>

2024年 1月 19日 発行



「新年に思う」の 施設長 服部 宗弘

新年早々能登半島地震、羽田空港事故と大きな震災・事故に見舞われ、被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。早速道協会より障害者事業所に対する支援物資要請が来たことから使い捨てカイロ段ボール4箱を送付したところです。今後義援金のとりくみにも積極的に参加します。阪神大震災、東日本大震災、熊本地震、北海道東部地震など日本は地震大国です。その中で災害弱者といわれる高齢者、とりわけ障害者は助けてもらえず逃げ遅れ、また行き場を失い避難所にも入れないことが繰り返されてきました。致死率は健常者の1.5～2倍といわれ、今回も報道の陰の存在になっていないか心配しています。協会や当事者団体が救援に入るとしていますが、一刻も早く手を差し伸べることが重要です。

災害はいつでも起こりうることから備えと対応力が必要です。現在法人ではBCP(感染症及び災害に係る業務継続計画)を策定中です。当事業所は滝川市の福祉避難所として指定されていますが、具体的な計画は未だ滝川市より提示されていません。多岐にわたっての準備が必要となると思われますので、実効性のある対策計画を立てます。

世界ではウクライナでの戦争が続き、パレスチナのガザ地区での戦争も起きました。一人でも大切な命を救おう、生き延びようとしている一方、国同士が殺し合っている現実があります。命を蔑ろにするのは愚かなことです。やめさせるため、私たちの小さな声を皆の声に、皆の声が大きな力になって地域を自治体を国を世界を平和に変えたい。諦めないで各々ができることに取り組みたいものです。

今年も皆様に当工房へのご理解ご協力をお願いし、この新しい年がより平和な良き年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年12月10日 育成会クリスマス会

身体障害者福祉センターで「滝川市手をつなぐ育成会」のクリスマス会が開催されました。人数を合わせるゲームでは協力して皆さん頑張っていました。

赤平から「MR3」、地元滝川「カラフル」によるライブはクリスマスソングやアニメソングで盛り上がりました。音響協力ミュージックハウスジグさんにもありがとうございます。

お菓子も配られて笑顔がいっぱい！皆さん良いクリスマス会でしたね♪



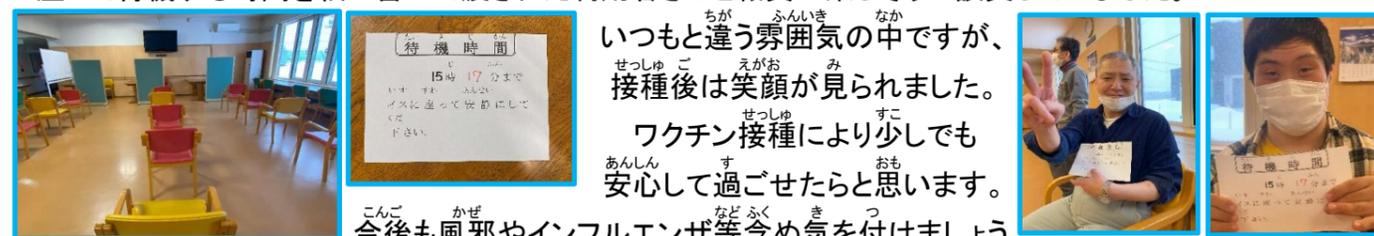
2023年12月23日 滝川ほほえみ工房 クリスマス会

工房内でもクリスマス会が開催されました。ツリーも飾って、サンタ衣装やトナカイカチューシャで雰囲気もばっちり！！豪華なクリスマス会用の昼食とカラオケで盛り上がりました。寒い冬が始まりましたが皆さん元気で楽しんでいました。



2024年1月12日 新型コロナウイルスワクチン7回目

年明け早々、7回目のコロナワクチン接種を受けました。今回も男澤医院さんをお願いしました。ワクチン接種後は体調不良になることがあります。皆さん接種後は決められた時間まで座って過ごします。座って待機する時間を紙に書いて渡された利用者さんと職員が楽しそうに談笑していました。



いつもと違う雰囲気の中ですが、接種後は笑顔が見られました。ワクチン接種により少しも安心して過ごせたらと思います。

今後風邪やインフルエンザ等含め気を付けましょう。

2024年1月6日新年会

～ 三浦華園の広い会場で新年会 ～
久しぶりに大勢で集まることができました。

美味しい食事にあちこちのテーブルでは笑い声があふれ会話も弾んでいる様子。

カメラを向けると素敵な笑顔を見せて頂きました。写真撮影も楽しくできました。

カラオケで楽しむ姿、福袋の中身を確認する様子とても良い1年の始まりを感じました。

北海道の冬は長いですが、寒い冬を楽しんでみんな元気に春を迎えましょう。今年も宜しく願い申し上げます。

